

令和5年度

よく学び力をつける子 友達となかよくできる子 はつらつと体をきたえる子



# とよはる

みんな友達 豊かな心 あふれる意欲

<http://schit.net/kasukabe/estoyoharu/>

春日部市立豊春小学校  
学校だより2月号  
児童数 549人  
春日部市道順川戸 37-1  
令和6年2月1日



## 啐啄同時 (そったくどうじ)

～子どもに寄り添うということ～

校長 松原秀樹

能登半島地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域のみなさまの安全と一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

3学期の始業式では哀悼の意を込めて黙祷を行いました。私たちにできることは、被災した方々の1日も早い復興を願うこと、自分たちにできることを実行することを子ども達に伝えました。今できることは何でしょうか。復興の具体的なお手伝いができるのは大人達です。募金をする、お願いをすることはできるかもしれませんが、それよりも、子ども達には、今の自分の生活を大切にすることだと私は考えています。学校で勉強をする、友達と遊ぶ、家族で仲良く暮らす。そんな当たり前の日常を、改めて大切にしたいと思えます。

さて、寒さの厳しい登校時に、6年生の有志が校門に立ち、あいさつ運動をしています。「あいさつ春日部ナンバー1 豊春オンリー1」と越谷アルファーズからいただいたのぼりを持ちあいさつする元気の良さに、登校してくる豊春っ子達もつられます。子ども達の活気のある姿に胸を打たれます。

「啐啄同時 (そったくどうじ)」という禅語があります。「啐 (そつ)」とは、鳥のひなが卵から生まれ出ようとするときに、内側からくちばしでつつくこと。その時、すかさず親鳥が外から殻をついばんで破る、これを「啄 (たく)」と言います。殻をコツコツつつくのに合わせて、親鳥が外から卵の殻をコツコツつつくが一致してひなが生まれることから「絶好の好機、またとない好機」を表す言葉として使われます。卵の中のひながつついているのを親鳥が気付かなかったり、つついていないのに親鳥が殻を破ったりしてもいけないのです。

「啐啄同時」とは、正に、子どもの力を信じて大人が待ち、ここぞという時に力を与えることを言うのだと思います。学習活動における子ども達と教師、家庭での親と子どもの関係です。互いが響き合った時、新しい何かが誕生するのです。子どもが興味・関心をもって自分から学びたい、やってみたいと一歩踏み出した時、そのタイミングを捉えてその意欲に寄り添ってやるのが私たち大人の役目だと考えます。

成長速度がそれぞれ違う子ども達に寄り添い成長の実を熟すために、学校は子ども達のそばにいて信じること、そして熟す瞬間に立ち会うことを目指します。豊春小は教職員一丸となって、焦らず、おごらずにご家族のみなさんと一緒に歩みを進めていこうと思います。

今後とも本校の教育活動に、御支援御協力をお願いいたします。

## 1月の教育活動より

### グローブ授与式



1月11日(木)大谷選手からいただいたグローブの授与式を行い、6年生が代表で受け取りました。子ども達一人一人が手にとり、喜びをかみしめました。大谷選手からの『野球しようぜ』のメッセージの通りこれから沢山活用していきます。

### 3年生 木工教室



1月17日(水)に埼玉建設の方に来ていただき、木工教室を行いました。一人一人丁寧に教えてくださったので、子ども達は、上手くきりや金づちを使うことができるようになりました。プランターができあがると、とても満足そうでした。

### 4年生 社会科見学



1月19日(金)に中川水循環センターと首都圏外郭放水路に行ってきました。子ども達は、貯水槽の地下神殿のような壮大なつくりで圧倒されていました。実際に見ることで放水路の仕組みをよく理解することができました。

### 6年生 薬物乱用防止教室 (兼第3回学校保健委員会)



1月24日(水)に埼玉県警『あおぞら』の方から、覚醒剤などの薬物乱用の恐ろしさを教えていただきました。子ども達は、感想で『誘われてもきっぱりと断る。』とはっきりとした意志を示すことができました。

### 5年生 子ども安全見守り講座 (5年生学年活動)



1月26日(金)に埼玉県ネットアドバイザーの方から、インターネットの危険性や安全に利用するために必要なことについてお話をいただきました。家庭におかれましても、子ども達の利用について見守っていただけますようお願いいたします。